



ポスタス マクロデータレポート 2022年6月（22年5月分更新）

2022/6/10

ポスタス株式会
社

2022年5月

飲食店売上動向 POSデータ定期レポート

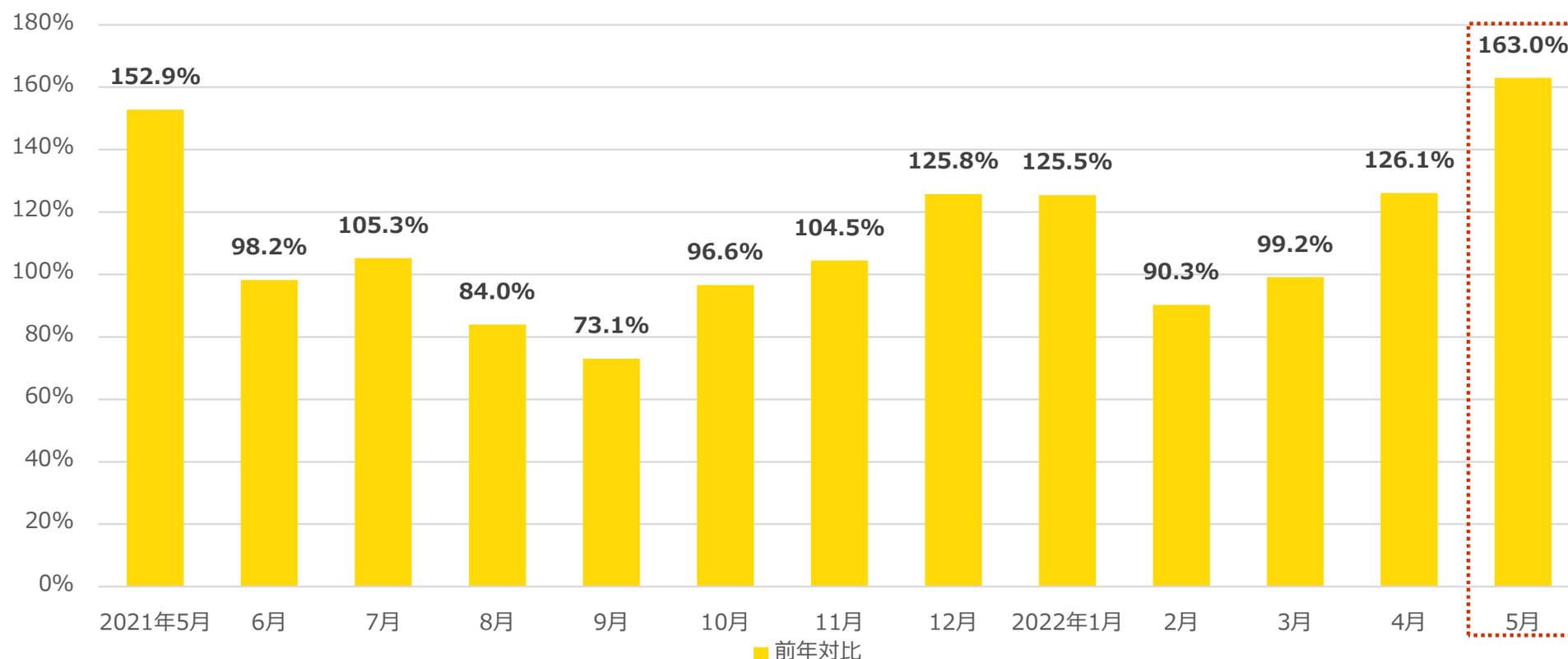
5月度の売り上げは前年対比で163%

ついにコロナ影響前（2019年）の142%まで伸長！



5月度の売り上げは前月から36.9ポイント良化し、前年対比で163%回復した。
 2021年5月の売り上げが2020年比152.9%、2020年5月の売り上げが2019年比56.9%（※1）なので
 コロナ影響前（2019年）対比でも142%となった。

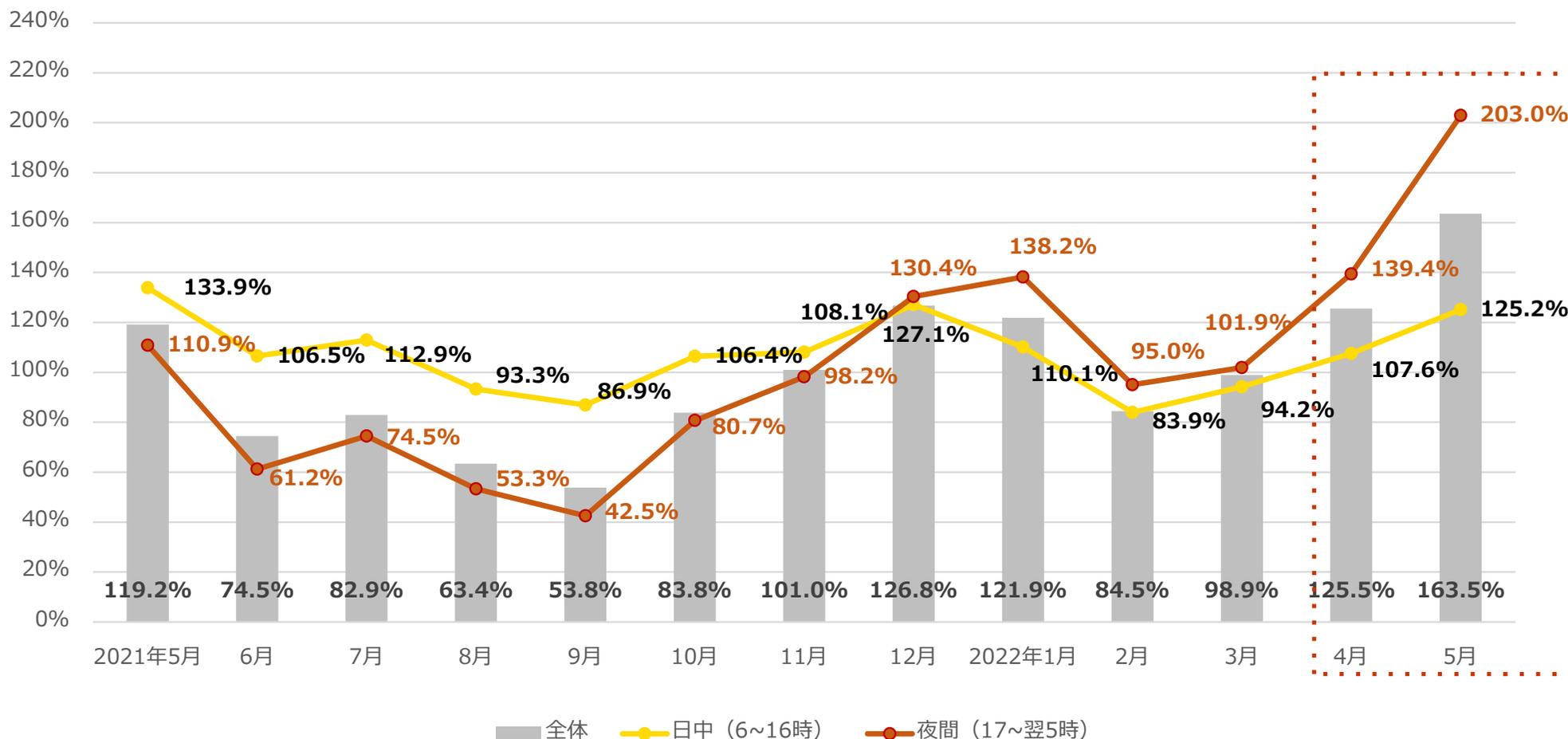
全国飲食店 売上月次推移 前年対比



※1 【2020年5月】POSデータ定期レポート 「売上昨年同月対比 客単価別 表1」 参照
<https://www.postas.co.jp/news/2020/246/>

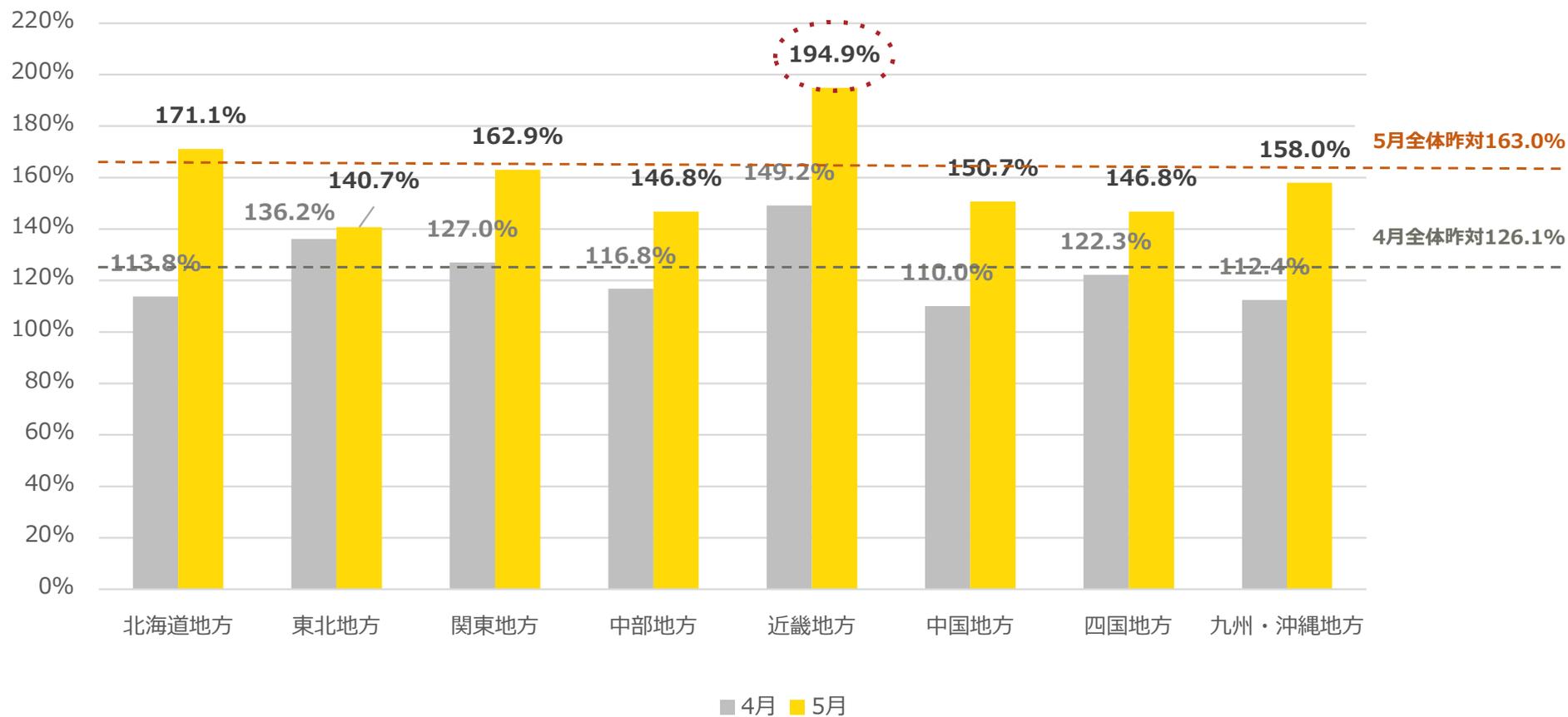
5月度の時間帯別売上は、日中帯の前年対比が125.2%、夜間帯が203%。
4月度以上に夜間帯の回復が著しい。

飲食店 時間帯別売上上月次推移（前年対比）



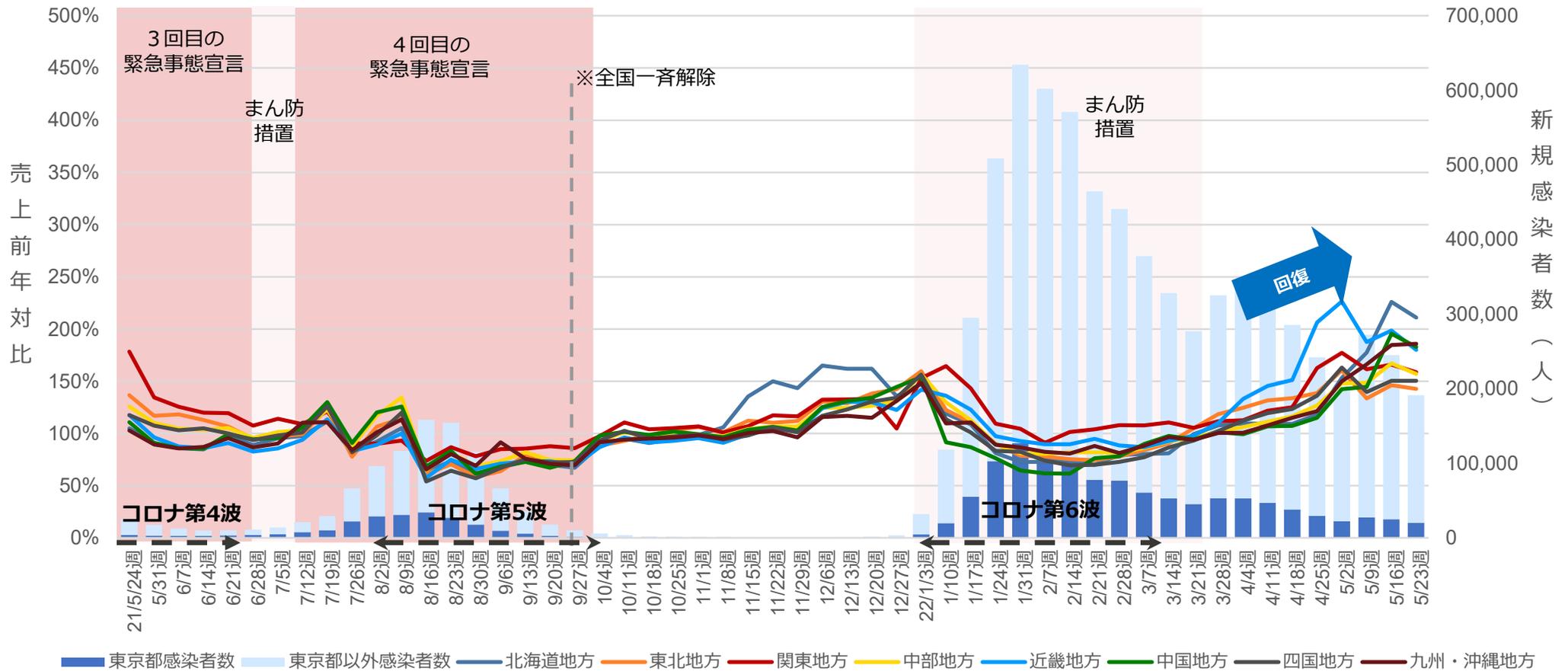
5月は4月以上に全エリアで前年以上に大きく伸長。近畿地方での5月の回復率が最も高い。

飲食店 エリア別売上（4・5月）前年対比



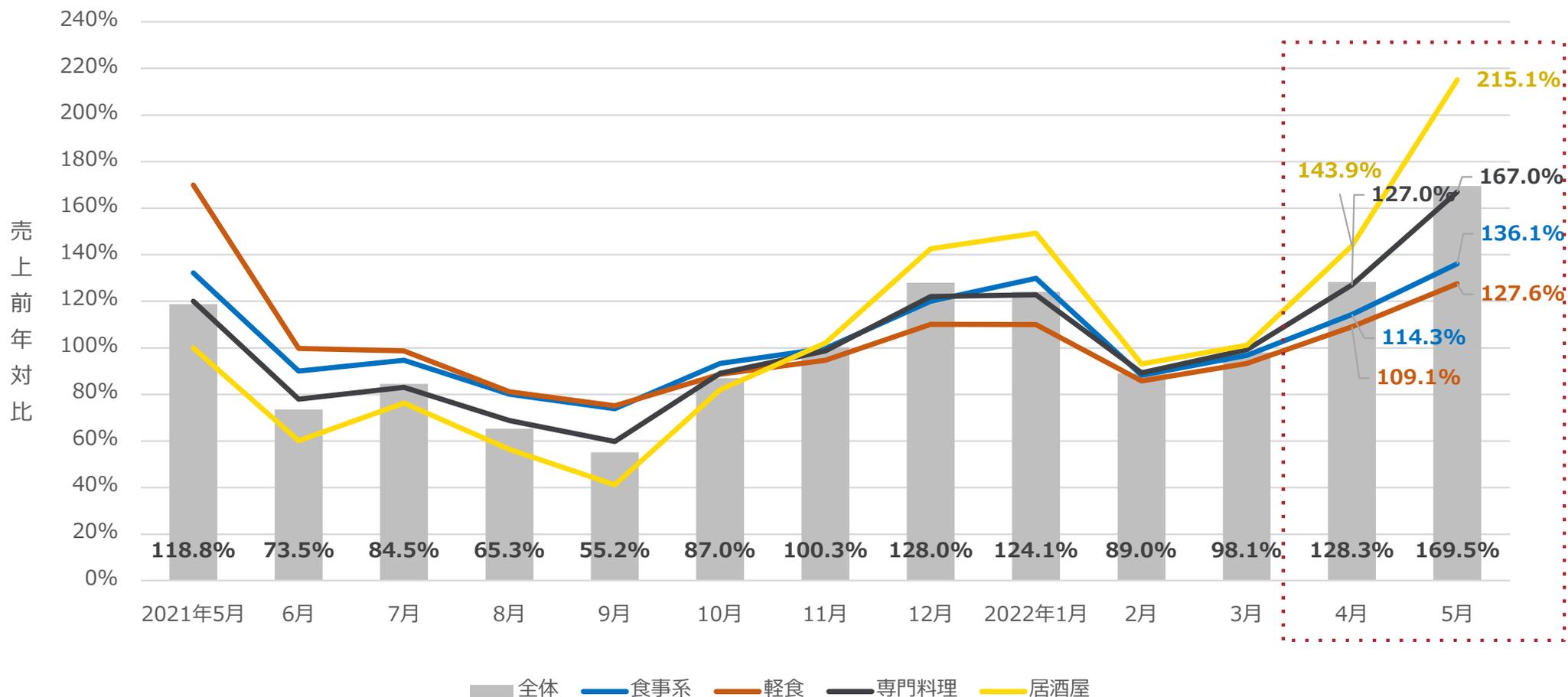
特に前述の近畿地方はGWにあたる2週目の前年対比の伸び率が高い。
他エリアも5月に入ってから高水準で推移している。

新規感染者数とエリア別売上週次推移（前年対比）



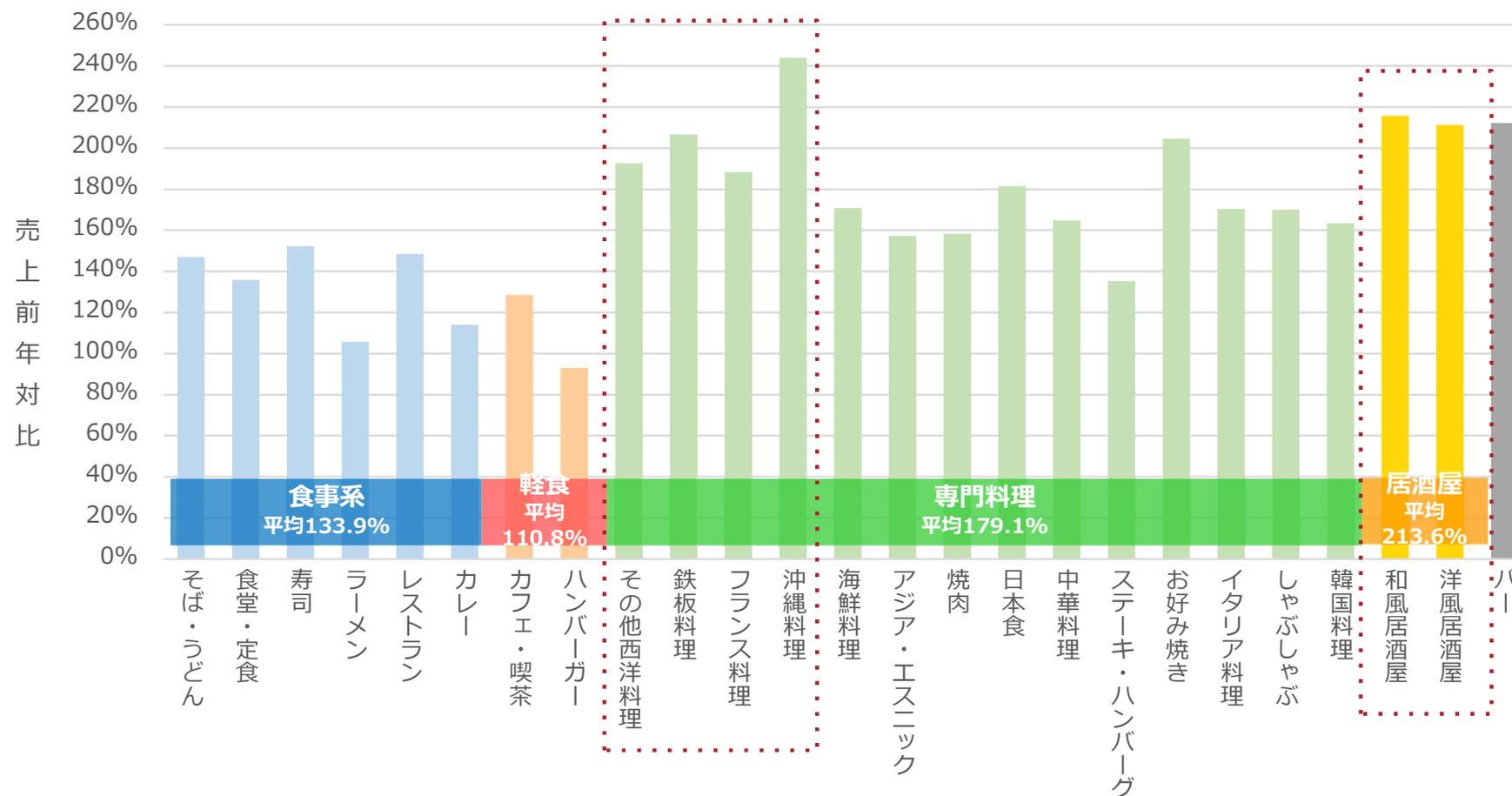
業種別で見ると、主業種ですべて前年対比で回復しているが、特に居酒屋の回復率が著しい（215.1%）。前述の「夜間帯の回復」の主要因と考えられる。

飲食店 業種別売上月次推移（前年対比）



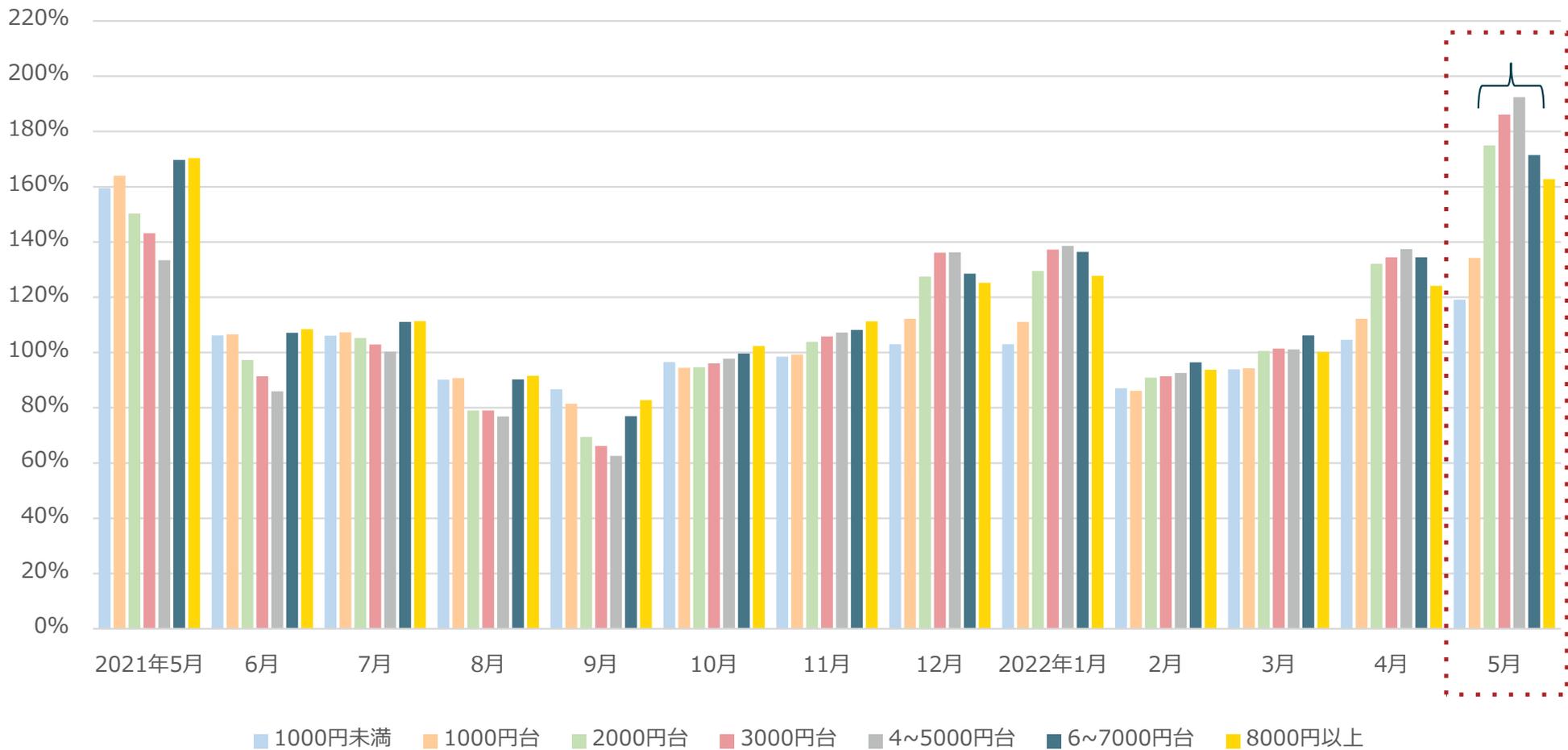
ジャンル別で見ると、前述の居酒屋のほかには「沖縄料理」「その他西洋料理」「鉄板料理」などの回復率が平均以上である。一方、「ハンバーガー」・「カレー」等の回復率は微減か横ばいである。4月度の傾向以上に、複数人で楽しむディナー系で大きく回復し定着したと言っていだろう。

飲食店 ジャンル別売上（5月） 前年対比



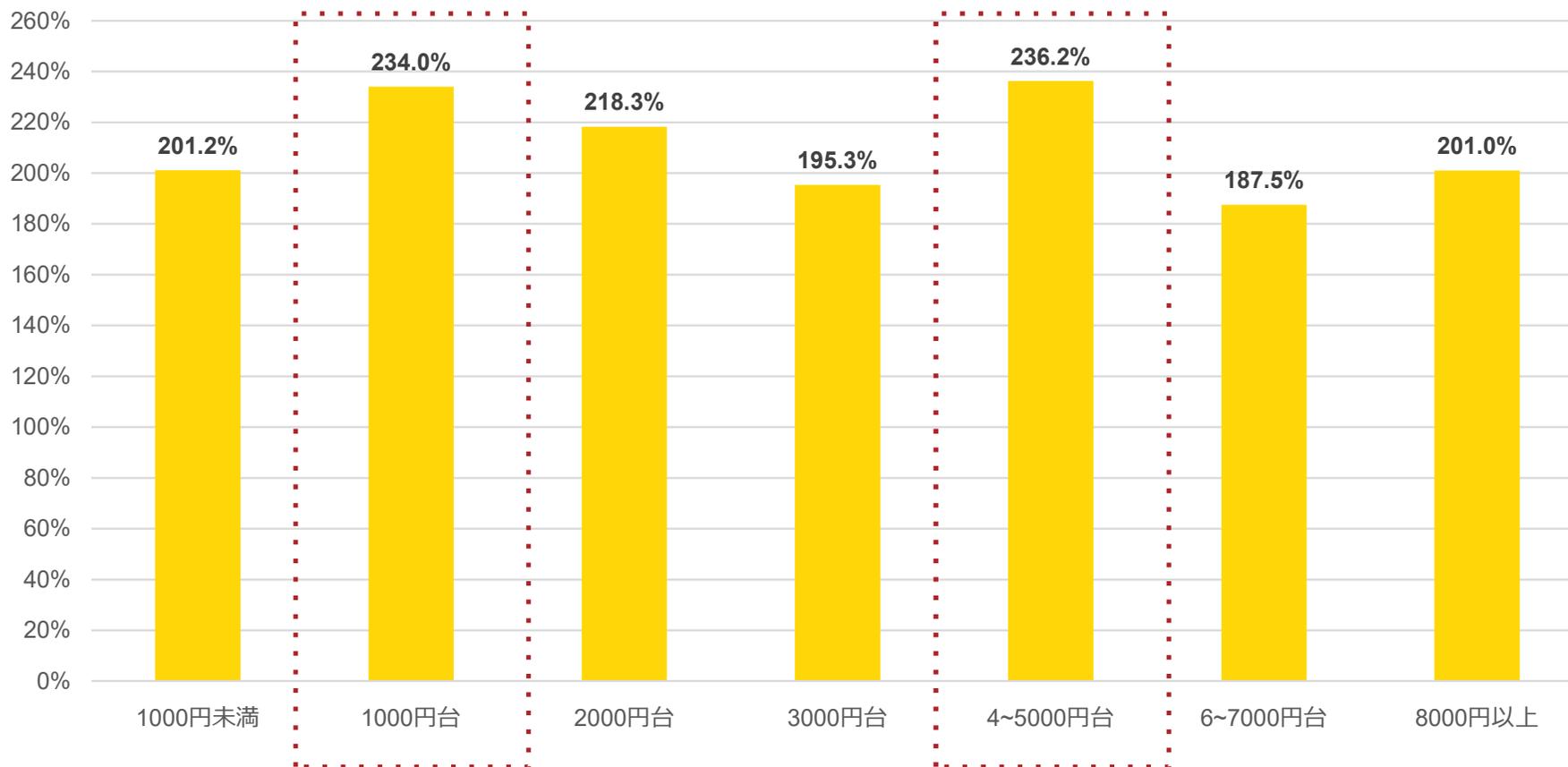
顧客単価別で見ると、2,000円台～7,000円台で前年対比で130%の伸長を示している。

飲食店 顧客単価別売上（前年対比）



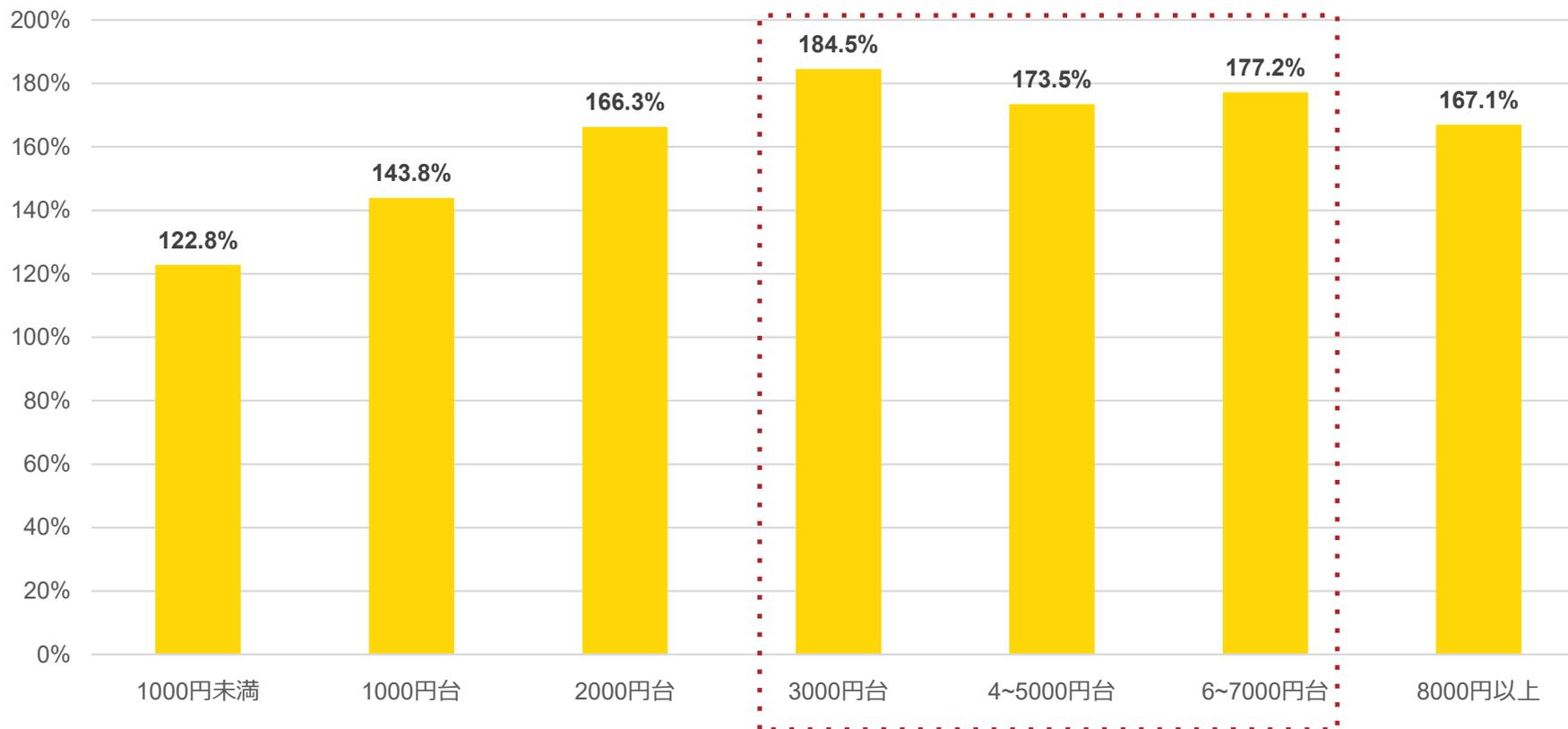
前年対比で伸びが著しかった「居酒屋」は、
全体的に伸び率は高いが、1,000円台と4~5,000円台の2つの山ができています。

【居酒屋】 顧客単価別売上（前年対比）



前年対比で伸びが高かった「専門料理」は、3,000円台～7,000円台単価ゾーンの伸び率が高い。

【専門料理】 顧客単価別売上（前年対比）



■ ついにコロナ影響前（2019年）対比で142%の伸長！

- ・ 5月度の売り上げは前月から36.9ポイント良化し、前年対比で163%回復した。2021年5月の売り上げが2020年比152.9%、2020年5月の売り上げが2019年比56.9%（※1）なのでついにコロナ影響前（2019年）対比でも142%となった。

■ 夜間帯・居酒屋・ディナー系レストランの回復が著しい。

複数人で楽しむディナー系で大きく回復し、もはや定着したと言っていいだろう。

- ・ 5月度の時間帯別売上は、日中帯の前年対比が125.2%、夜間帯が203%。4月度以上に夜間帯の回復が著しい。
- ・ エリア別には、5月は4月以上に全エリアで前年以上に大きく伸長。近畿地方での5月の回復率が最も高い。特に近畿地方はGWにあたる2週目の前年対比の伸び率が高い。他エリアも5月に入ってから高水準で推移している。
- ・ 業種別で見ると、主業種ですべて前年対比で回復しているが、特に居酒屋の回復率が著しい（215.1%）。「夜間帯の回復」の主要因と考えられる。
- ・ ジャンル別で見ると、前述の居酒屋のほかには「沖縄料理」「その他西洋料理」「鉄板料理」などの回復率が平均以上である。一方、「ハンバーガー」・「カレー」等の回復率は微減か横ばいである。4月度の傾向以上に、複数人で楽しむディナー系で大きく回復し定着したと言っていいだろう。
- ・ 顧客単価別で見ると、2,000円台～7,000円台で前年対比で130%の伸長を示している。
- ・ 「居酒屋」は、全体的に伸び率は高いが、1,000円台と4～5,000円台の2つの山ができています。
- ・ 「専門料理」は、3,000円台～7,000円台単価ゾーンの伸び率が高い。

新型コロナ新規感染者数は緩やかに減少しており、都市部・繁華街の人流も戻ってきている。消費者の外出行動はコロナ以前に戻りつつあると言っていいだろう。6月には外国人観光客の受け入れが再開されるなど、さらなる売上の向上・安定化が期待される。

※1 【2020年5月】POSデータ定期レポート 「売上昨年同月対比 客単価別 表1」 参照



会社概要	
社名	ポスタス株式会社 (POSTAS CO., LTD.)
従業員数	170名 (2022年4月時点)
設立	2019年 (平成31年) 12月2日
事業概要	モバイルPOSサービスの提供 Fintechサービスの提供 HRテックサービスの提供
資本金	100百万円
所在地	(本社) 〒104-0045 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル2・3F (大阪拠点) 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB 17F
役員	代表取締役社長 本田 興一 取締役 長井 利仁 取締役 岩田 亮

ポスタスマクロデータとは、
飲食店市場動向を横断的に見ることができるビッグデータです



- ◆ 飲食店POSデータ最大級の規模
- ◆ リアルな売上実績に基づいたデータベース
- ◆ 先週はどうだった？昨日はどうだった？と
タイムリーな分析が可能
- ◆ 売上規模、客数・客単価、時間帯傾向、業種分類、支払い種別、メニューなど
多彩なデータを保有

【新聞・雑誌等】

日本経済新聞

日経MJ

北海道新聞

東洋経済

【テレビ】

NEWS23（TBSテレビ）

グッドモーニング（テレビ朝日）

【行政機関】

内閣府様

農林水産省様

（飲食店市場動向調査データとしてご利用）

【メーカー】

大手飲料メーカー様

高い信頼性が
評価され
メディアや
政府機関で
採用いただい
ています

◆ 飲食店

- 自店の売上状況はいいのか？悪いのか？市場の状況と比較して状況を把握できる。
- 近隣や同業種、同規模店と比較して伸ばせるポテンシャルはあるか発見できる。
- 商品の価格を決める際の参考にできる。
- 自店以外の客層を見てメニュー開発フェアなど早めの対策を打つことができる。

◆ メーカー、卸

- 取引先飲食店へのコンサル提案に活用できる。
- 自社の商品開発に活用できる。

◆ コンサル会社

- 飲食店へのコンサル提案に活用できる。
- 食品メーカー、飲料メーカーへのコンサル提案に活用できる。
- 新規出店コンサル時の商圈の状況を把握できる。

◆ 金融機関 銀行

- 市況の把握ができる。
- 取引先飲食店へのコンサル提案に活用できる。
- 新規出店時融資の際に同業の市況などを見て融資判断材料の参考にすることができる。
- カスタマイズデータで融資の際のスコアリングへの活用ができる。

◆ 行政機関、市場調査会社

- 市況の把握ができる。

① 定期レポート提供



基本的な市場動向のレポートを、
週の速報及び
月次レポートとしてご提供

② カスタマイズ分析レポート提供



お客様の課題解決ニーズに合わせて
分析した結果をご提供

③ 統計データのcsv提供

A screenshot of a CSV data table with multiple columns and rows of numerical and text data, representing statistical information.

お客様自身で分析が行えるように
統計データをcsv形式で提供

ご利用についての相談、ご利用条件、提供価格等はお気軽にお問合せください。

お問い合わせ先

マクロデータについてのお問合せ、活用のご相談は
担当営業または、下記までご連絡ください。

ポスタス株式会社 広報担当

お問い合わせフォーム

<https://www.postas.co.jp/inquiry/index.html>

ポスタス株式会社

<https://www.postas.co.jp/>

本資料内のデータ・グラフ等の画像・文章の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。